

大学院

学生の知的探求心に応えるために、高度な研究に取り組み、
学問の世界を広げる4研究科からなる大学院を設置しています。

CHECK MORE!

詳しい情報は
公式サイトをチェック!



環境科学研究科

環境動態学専攻 [博士前期・後期課程]

生物圏環境研究部門 / 生態系保全研究部門 / 生物生産研究部門

自然生態系が人為的攪乱や環境変動に対してどのように応答するのかを追究します。琵琶湖とその周辺環境の生態系をモデルとし、物質や生物群集の動態を調べることで、自然環境の保全と管理のための基礎的知見を集積します。一方で、自然が私たちに与えてくれる恩恵、いわゆる生態系サービスとしての農業のあり方について研究することで、持続可能な社会の構築に貢献しています。これらの活動を通して、自然生態系の保全、あるいは持続可能な生物生産や資源利用に関して提言のできる人材の育成を目指します。

環境計画学専攻 [博士前期・後期課程]

環境意匠研究部門 / 地域環境経営研究部門

環境意匠研究部門では、自然環境と共生する持続可能な社会環境の創出を目指し、安全で快適な生活空間・建築空間・都市空間を創造するための造形論・意匠論・計画論・技術論を追究しています。地域環境経営研究部門では、持続的な資源利用と地域経営、環境保全を可能にする地域社会のあり方を探るとともに、それを実現するための計画とその運用について教育研究を行っています。

工学研究科

材料科学専攻 [博士前期課程]

無機材料部門 / 有機材料部門

本専攻では、21世紀の高度化した工業技術の進展に貢献でき、地球環境に調和した先端材料の開発と研究を目指しています。無機材料から有機材料までの各種材料に関する幅広い知識と開発能力を有し、さらに高度に複合化した材料にも対応できる人材を養成しています。無機材料部門と有機材料部門にそれぞれ3研究分野を置き、互いに連携しながら材料科学・化学ならびにその関連分野について、高度な知識の習得と深い理解、またその応用を図るための教育研究を行っています。

機械システム工学専攻 [博士前期課程]

機械システム工学部門

機械をシステムとしてとらえたもとの、人間と機械を取り巻く地球環境への影響を考慮した機械システムのあり方を検討し、機械システムの高度化・知能化やその機能の多様化などを革新的先端技術によって具現化できるような人材を養成しています。研究分野としてエネルギーと動力、流体工学、材料力学、機械ダイナミクス、メカトロニクス、生産システムを設置することによって、エネルギーや材料、加工技術を含めた広い視野から分野横断的な教育研究を実施しています。

電子システム工学専攻 [博士前期課程]

電子工学部門 / 電子応用部門 / 情報部門

電気・電子・情報システムの視点から、幅広い基礎知識を含む高度な専門知識を習得するとともに、顕在化している多岐にわたる環境問題が解決でき、持続可能な開発につながる電子システムおよびその関連システム・要素を創成できる、有為の人材を育成します。電子工学部門、電子応用部門および情報部門を置き、有機的に互いに連携しながら、工学上の諸問題に関して電子システムの立場から解を導き出すことができ、社会経済において指導的役割を果たせるような人が育つ教育研究を実践します。

先端工学専攻 [博士後期課程]

先端工学部門

博士前期課程における教育研究の一層の深化を図るために、博士後期課程ではすべての専攻を融合した先端工学専攻を置いています。本専攻では、研究者相互の知的融合や協同を通じて、高度な学問的見識や研究開発能力に加えて、豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を図っています。さらに、人間と環境に適した科学技術の創出と、応用のための独創的研究を推進し、それらの産業への応用を目指しています。

人間文化科学研究科

地域文化学専攻 [博士前期・後期課程]

日本・歴史文化論部門 / 日本・現代地域論部門 / 国際文化論部門

グローバル化に適合する地域社会とはいかにあるべきかを、各部門の観点から追究しています。日本・歴史文化論部門では歴史学・考古学・美術史学を基盤に、近江や日本、隣接地域の地域社会の構造や文化について教育研究を行います。日本・現代地域論部門では社会学・地理学・民俗学・保存修景学・文化人類学・地域計画学を基盤に、近江や日本、隣接地域の地域社会の構造や社会意識、地域活性化を図る方法について教育研究を行います。国際文化論部門では文化人類学・近現代史・思想史・文学・言語学を基盤に、アジアや欧米地域の文化・言語を対象に研究を進め、世界に向けて情報発信できる人材育成を目的としています。

生活文化学専攻 [博士前期・後期課程]

生活デザイン部門 / 健康栄養部門 / 人間関係部門

本専攻では生活科学と人間科学の立場からライフスタイルを取り扱っています。人間のライフサイクル全般を通じた生活と社会との関わりを、生活デザイン・健康と栄養・人間関係の視点から根底的に見直し、真に充足した健康で快適な生活文化と生活環境とを生み出すための教育研究を展開しています。生活の中でのデザインを探究し、健全なライフスタイルと生活環境をデザインする生活デザイン部門。栄養に関する生活の知恵や技術を科学的に捉え、健康生活の実現を目的とする健康栄養部門。望ましい生活環境を創造するための、新たな人間関係を築く方法を考える人間関係部門の3部門を設置しています。

人間看護学研究科

人間看護学専攻 [博士前期課程]

基盤看護学部門 (研究コース) / 生涯健康看護学部門 (研究コース) / 高度実践看護学部門 (専門看護師育成コース・慢性疾患看護分野および在宅看護分野) / 助産学部門 (助産師育成コース)

本研究科は、看護学に関する高度な専門的知識・技能と高潔な倫理観を持ち、人々の健康と安寧に貢献できる人材を育成します。そのため、4部門3コースを開設し、多様なニーズを持つ人々の生活や社会状況を深く理解し、実践の科学として看護を探究する力を養っていきます。また、看護教諭一種免許を取得している方および看護教諭一種免許取得要件を満たす方が、本研究科に在籍し、必要な単位を修得することにより、看護教諭専修免許を取得することも可能です。

人間看護学専攻 [博士後期課程]

基盤看護学研究部門 / 看護実践科学研究部門

社会の変化や地域のニーズを的確に捉え課題解決できる看護学教育・研究者の育成および、保健・医療・福祉各機関における管理的指導者としての高度看護専門職の育成を行い、滋賀県において質の高い看護学教育・実践・研究拠点を目指します。

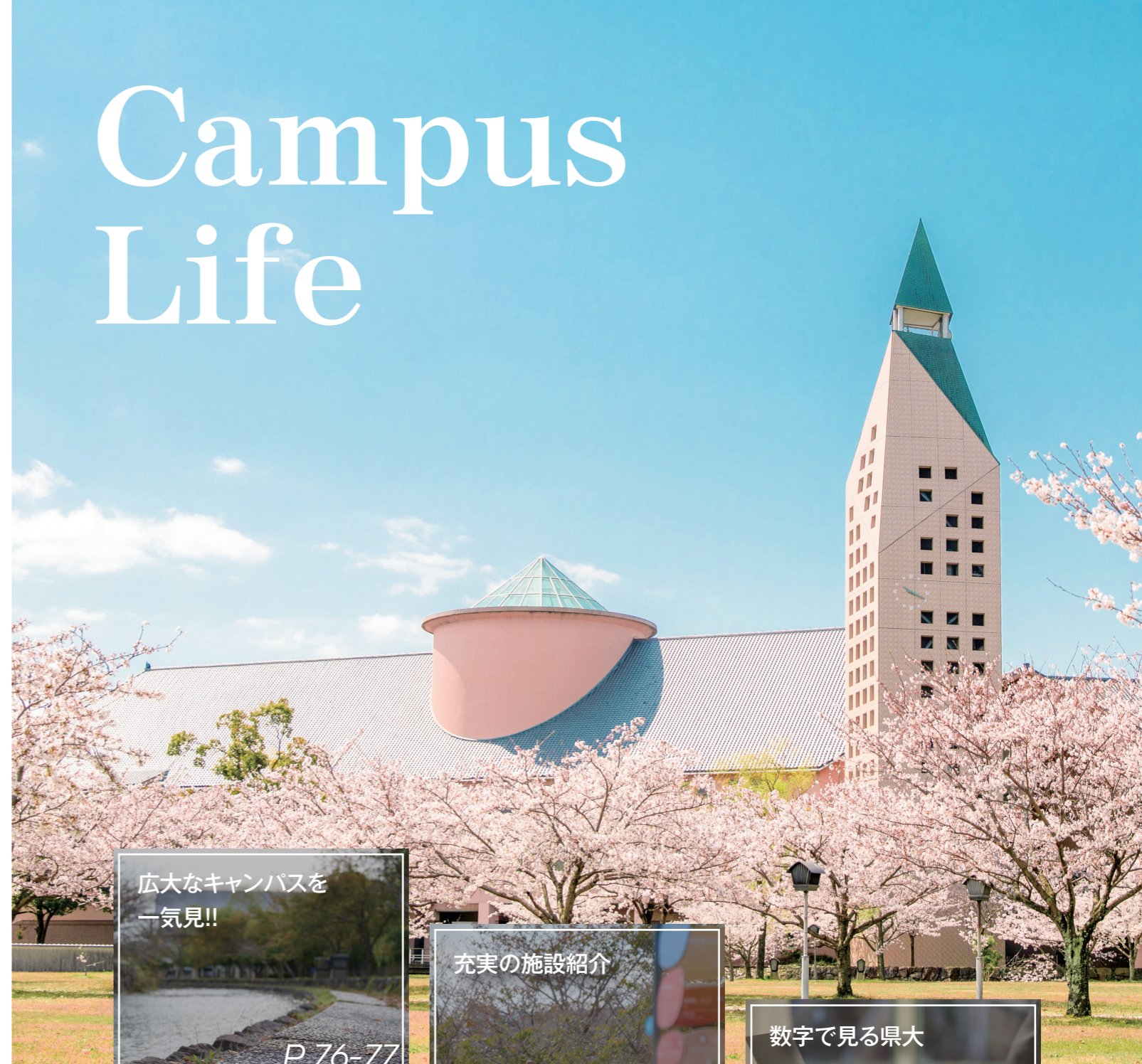
e-PICT

大学院修士課程または博士前期課程に在学する学生を対象とした大学院副専攻ICT実践学座。地域産業・地域課題解決に向けて、数理モデル・情報解析能力を習得した学生を養成し、地域におけるICTの中核を担う人材の育成を目指しています。

詳しい情報は
公式サイトをチェック!



Campus Life



広大なキャンパスを
一気見!!

P.76-77

充実の施設紹介

P.78-79

数字で見る県大

P.80-81

県大の“リアル”調査

P.82-83

クラブ&サークル

P.84-85

学生支援・学費
入試情報

P.86-87

Campus Map

学びはキャンパスを越えて

建築家・内井昭蔵氏が設計を手がけ、「公共建築百選」にも選ばれた美しいキャンパス。
 広大でのどかな環境が特徴のこのエリアでは、文字通り開かれたキャンパスとして、キャンパス内外を問わず「境界のない学び」が展開されています。



棟ごとにこだわりのある建築に注目♪

2 共通講義棟



3 環境科学部棟



4 工学部棟



5 人間文化学部棟



6 人間看護学部棟



7 琵琶湖

「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」というモットーのとおり、さまざまな学びが実践されています。

9 荒神山

たくさんの古墳が見つかっており、地域文化学科を中心に彦根市との共同調査にも関わっています。

1 えんぴつ塔/環濠

滋賀県立大学のシンボル「えんぴつ塔」。それらのセンターゾーンを中心に周りを環濠が囲んでいます。

8 彦根城

キャンパスから車で約10分の場所に位置する国宝・彦根城。滋賀県立大学の学生証があれば、無料で入城できます。

10 犬上川

キャンパスの近くを流れる川。環境生態学科の学生が流量観測や底生生物の採取なども行っています。

大学公式PR動画公開中!!

滋賀県立大学の美しいキャンパスを舞台に、各学科の学びの様子や課外活動、学生の声などを紹介しています。ぜひのぞいてみてください。



リンクはコチラ!



施設紹介



交流センター

交流センターには600人収容できるホールとホワイエや6室の研修室があります。授業や学生活動で使うほか、開かれた大学として学会やシンポジウム等の学術交流や地域との人材交流に活用されています。



自習室

自習室は各学部棟やA7棟にあります。静かな空間で自習するのももちろん、A7棟の自習室では可動式の机を自由に配置し、グループワークの場としても活用することができます。

知識の場



図書館

A5棟

約41万冊の蔵書を備え、デジタル技術を活用して学びをサポートしています。また、グループ学習エリアや個人閲覧室などの多様な学習スペースと、勉強の合間にリフレッシュできるスペースがあり、快適に過ごしていただけます。



センター広場

滋賀県立大学の中心に位置する広場で、毎日多くの学生が行き交います。大学全体のデザインコンセプトが「環濠集落」となっており、周りを環濠が囲んでいます。



ナシェリア

E6棟

「ナシェリア」は、気軽に立ち寄れるカフェスタイルの空間です。朝は朝食、ランチにはここでしか味わえないパスタやスープ、ワンプレートランチをお楽しみいただけます。午後は軽食とともに、くつろぎのひとつが広がる場所です。



学生ホール

A2棟

自動販売機コーナーとさまざまなタイプの椅子や机を設置しており、ちょっとした自習や友達とのおしゃべりにぴったりの場所です。

憩いの場



カフェテリア

A2棟

メインの食堂「カフェテリア」は昼時には多くの学生でにぎわいます。セルフサービス制で丼ものや麺類、日替わりメニューなど豊富に取り揃えています。

実習の場

圃場実験施設

約40,000㎡の広さを有し、持続可能な生物生産や植物生態に関する研究や実習ができます。水田や畑があり、ビニールハウス、気象観測設備などが設置され、ヤギの飼育やさまざまな野菜や花、穀物などの栽培をしています。



体育館

筒形の造形が特徴的な体育館では、さまざまな授業やクラブ・サークル活動が行われています。トレーニング機器などを完備した、充実した環境です。

実習調査船「はっさかII」

琵琶湖の水質・底質や生物相の調査、気象観測など、琵琶湖生態系の環境動態に関する多様な調査・観測に活用され、環境科学部のフィールドワークでも使用されています。



実習工場

C2棟

素材の加工から、熟処理、仕上げ、検査まで、物づくりに必要な一連の工作機械と測定機器が設置されています。実習工場で行われる実践的なものづくりは、研究のアイデアの実現や改良に活用され、さまざまな研究成果の社会実装に貢献しています。

調理室

D4棟

主に生活栄養学科が使用しています。調理実習や100食以上の大量調理実習を行うための実習室です。



数字で見る県大

学生数

人が育つ大学を目指し、夢をもって自主的に学び、たがいに力をあわせ、競いあい、高めあっている学風をつちかっています。



学部生数 **2,599**人 大学院生数 **279**人

2,878

人

※2026年4月3日時点

教員1人あたりの学生数

教員と学生の距離が近い少人数教育を通して、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導を行っています。

約3人

(1学年あたり)

※2026年4月3日時点

敷地面積

自然や歴史、文化など、多様な学びを提供してくれる琵琶湖を中心としたフィールドです。

320,814

m²

※1周歩くと約30分。阪神甲子園球場の約8個分の大きさです

近江楽座プロジェクト数と参加人数

地域活性化に向けて、地域課題の解決に学生が主体的に取り組み、全学的に支援する教育プログラムです。

22

プロジェクト

658

人

※2025年6月1日時点

アクティブラーニング科目の講座数

全学部において、地域や社会とのつながりの中で学ぶカリキュラムを豊富に展開。講義で学んだ知識を自らの経験として蓄え、実践的な力に変えていきます。

1,189

講座

クラブ・サークル、近江楽座参加率

約70団体のさまざまなクラブ・サークルと近江楽座団体が積極的に活動に取り組んでいます。

72%

※2025年5月1日時点

教員数

各分野に精通した専門家である教授陣が、学びをサポートします。



202

人

※2026年4月1日時点

卒業生数

大学で身につけた実践力を生かし、国内外問わず多くの卒業生が活躍しています。

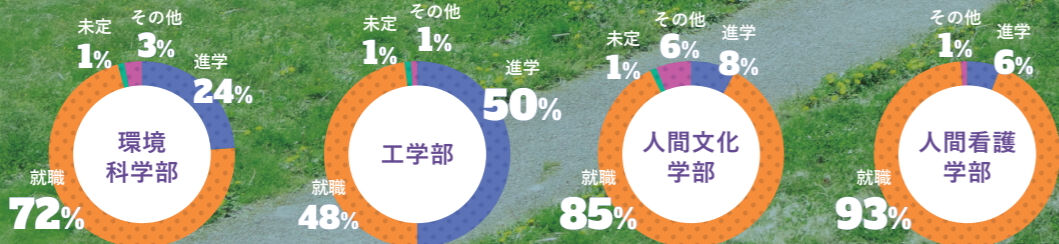
15,879

人

※2026年4月1日時点

学部別進路状況

※2025年度学部卒業生



ゼミ数

4学部13学科と幅広い学びを展開する滋賀県立大学では、専門性の高い学びと学科を超えた横断的な学びを展開しています。

13

学科

122

コース

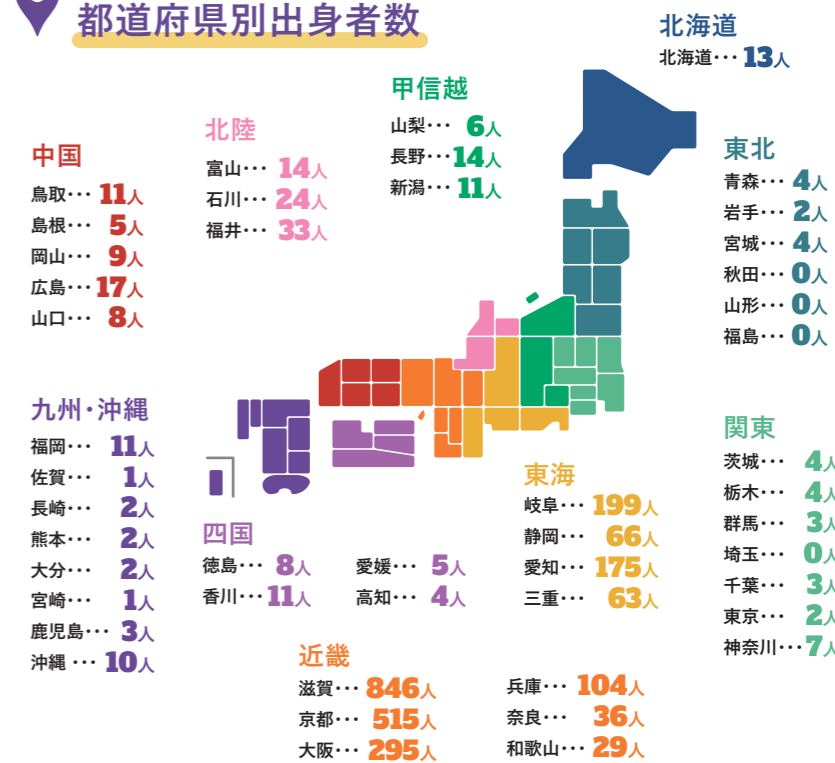
※2025年度4回生配属先一覧より

Close UP 全国から県大へ!

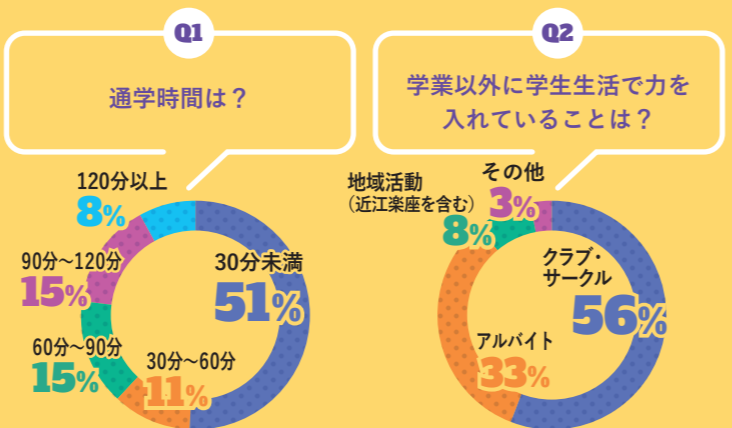
県大を選んだ理由

- A 国公立大学でありながら特殊な学科があるから。
- A 地域に密着した大学だったから。
- A フィールドワークが多くあり、実践的な学びが出来るから。
- A サークル等団体が多く、活動が活発だから。
- A キャンパスが綺麗で琵琶湖が目の前にあるという魅力に惹かれたから。

令和8年度在学生 都道府県別出身者数



県大生の Study



Voice
滋賀県立大学の自慢できるところ

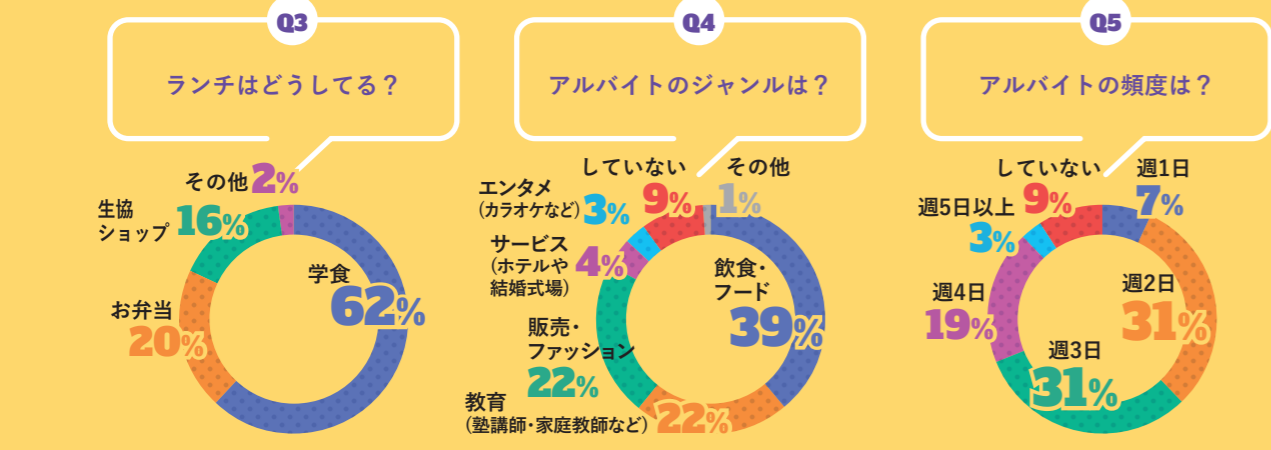
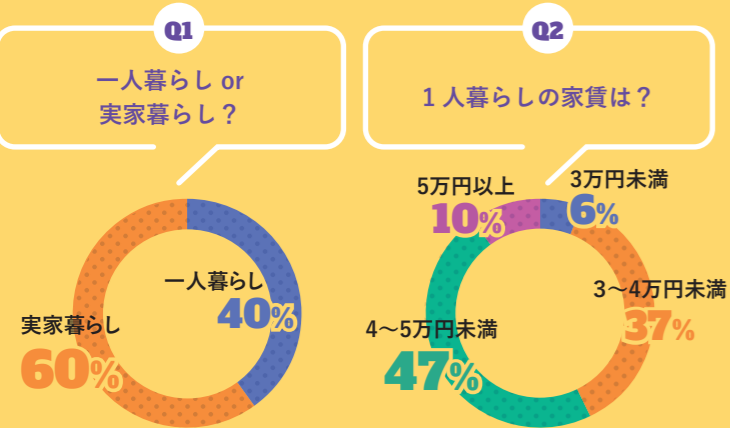
- 朝食企画などの学生支援の充実
- 近江楽座の活動
- 湖風祭が盛大で面白い!
- 隠れた桜の名所!
- 校舎のデザイン
- 先生との距離が近い
- 自然豊かな環境

Q3 大学のお気に入りの場所は？

図書館、芝生広場、センター広場、A7棟、グラウンド、ナシエリア

Q4 空きコマの過ごし方は？

カヌー、部活、図書館で読書、課題、友達とおしゃべり



“リアル”

工学部 材料化学科 4回生 小橋 陸さん



お気に入りアイテム
大学から始めたバドミントン。サークル長として活動の指揮をとるなど、このラケットとともに頑張っています!

Close UP 県大生の1日

7:30 登校(車)

9:00 授業
週に3回1限があります。

12:10 昼休み
カフェテリアで食べることが多いですが、時間がないときは生協で買うこともあります。

13:10 授業

14:40 友達と課題・勉強

17:00 サークル
毎週金曜日にバドミントンをしています。

19:30 夕食
サークルの人や別の部活の友達と食べに行くことが多いです。

21:30 帰宅
ゲームをしたり、テスト前には勉強をしたりしています。

8:00 朝食
大学の朝食企画も時々利用します。

8:40 登校(自転車)

9:00 授業

12:10 昼休み
いつも友達とカフェテリアを利用しています。

13:10 授業

16:20 授業終了
サークルが始まる時間まで、図書館や学生ホールで課題をしています。

18:20 サークル活動
湖風祭実行委員会で、大学祭の企画運営を行っています。

20:00 下校
家で課題をしたり、友達とごはんに行ったりします。



お気に入りアイテム
自分へのご褒美で買ったヘッドホン。空きコマなどの隙間時間によく音楽を聴いています。

人間文化学部 地域文化学科 4回生 山本 茉里奈さん

Events イベント紹介

年間を通して開催されるさまざまなイベントを通じて、仲間とともに多くのことを経験します。



秋に行われる湖風祭のプレイベント。浴衣姿のお客さんや色とりどりのうちわと江洲音頭のリズムが夏の夜を盛り上げます。



スポーツを通して、京都府立大学との親睦を深め、両校のスポーツのレベルアップを図ることを目的に毎年開催しています。



11月中旬の2日間、「地域密着」「環境重視」の大学祭を目指して、学生たちの自主的な取組により盛大に開催されます。

CLUBS & CIRCLES

夢中になれる活動で、充実した大学生活を送ろう

CLUB

Sports (19)

- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子硬式テニス部
- 女子硬式テニス部
- ソフトテニス部
- バドミントン部
- 陸上競技部
- 剣道部
- 弓道部
- 硬式野球部
- 軟式野球部
- ウインドサーフィン部
- カヌー部
- 水泳部
- 卓球部
- サッカー部
- 体操・トランポリン部

Culture (21)

- オーケストラ部
- 吹奏楽部
- アコースティックサウンドクラブ
- Big×Band部
- 軽音楽部
- 演劇部 劇団深夜特急
- ESS部
- びわこ航空技術研究部 BiwaTech
- 環境活動部 LEAFS
- サブカル部 げんしけん
- ボランティア部 Harmony
- 天体観測部 うんしよ
- ストリートダンス部 K'crew
- 写真部
- Magic部
- ロボット部コンピューター研究会
- 日本酒プロジェクト部
- ハンドメイド部
- アカベラ部 TRI TONE
- 科学実験部 FLASK
- ヤギ部

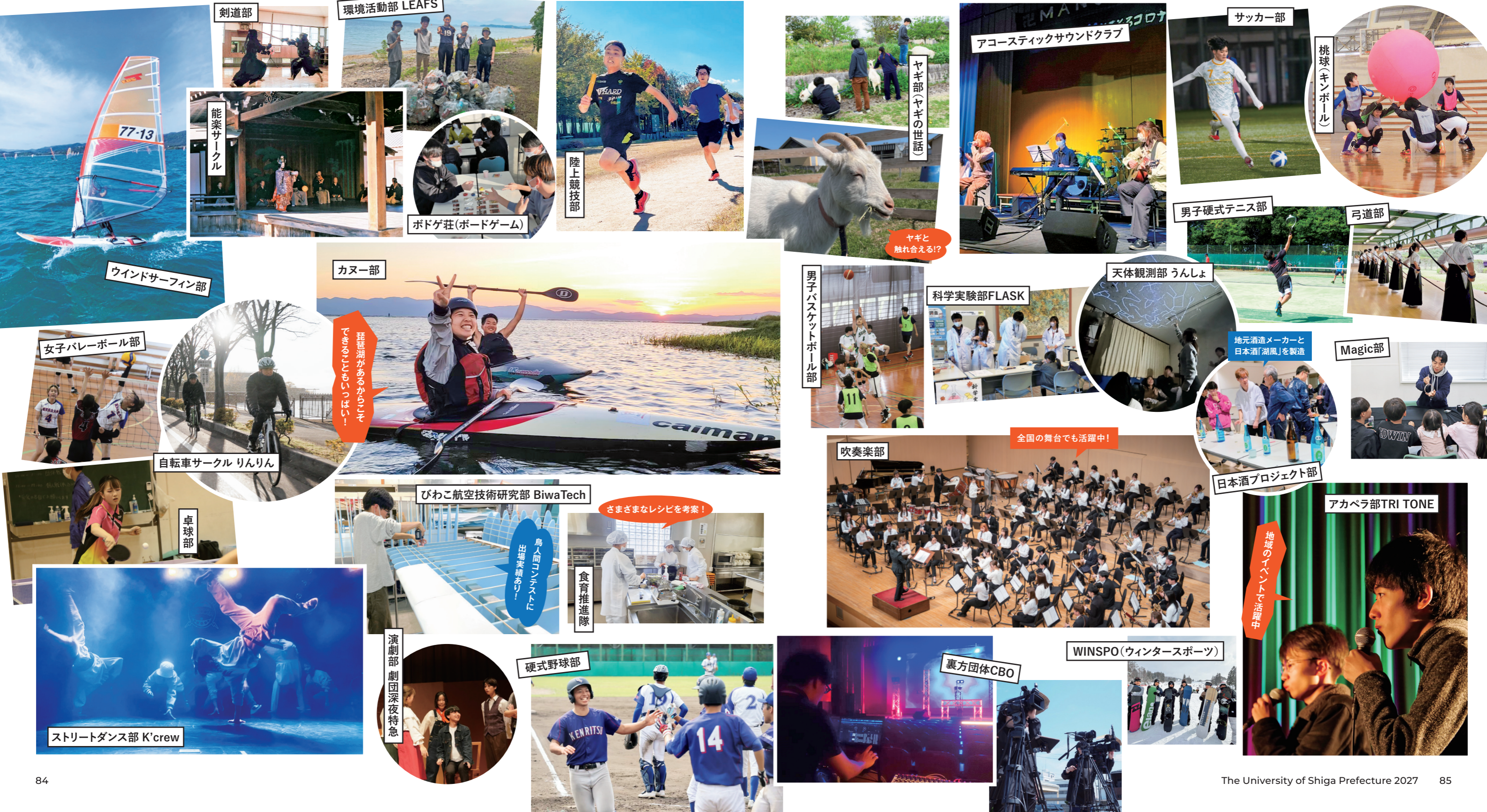
CIRCLE

Sports (10)

- ICEMEN(バスケットボール)
- lunetta(テニス)
- 桃球(キンボール)
- SKINS(サッカー・フットサル)
- 馬とみんとん(バドミントン)
- 自転車サークル りんりん
- Arke(ハンドボール)
- WINSPO(ウィンタースポーツ)
- 山岳会やまくらぶ
- 柔道サークル

Culture (25)

- 史跡めぐりサークル
- にじいろkids (子どもたちの交流)
- 生協学生委員会とんがり
- 食育推進隊
- びわこまち(留学生サポート)
- かるたサークル
- 裏方団体CBO(イベントの技術サポート)
- ラブライブ!研究会
- 囲碁・将棋サークル
- サバイバルゲーム UTAC
- アートの森(美術作品制作)
- コメディ研究会
- ポドゲ荘(ボードゲーム)
- 県大スマサー(e-sport)
- 能楽サークル
- ゲーサー(ゲーム)
- 繋KIZUNA(書道)
- あみあみくらぶ
- 動画編集サークル 柎プロ
- K-POPサークル
- 競技プログラミングサークル
- 県大ファーム(野菜の栽培)
- コーヒーサークル
- 自動車サークル
- 湖東淡水魚相復元プロジェクト
- 湖風祭実行委員会



7 学費

入学科・授業料

入学科	入学時納入金		備考
	県内	県外	
	282,000円	423,000円	入学手続時に納入

授業料	備考	
	年間総額	前期・後期に分け納入 各期267,900円
	535,800円	

貸与型奨学金

日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類は第一種奨学金(無利子)と、第二種奨学金(有利子)の2種類があり、人物・学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学困難な学生は学資となる奨学金を受けることができます。経済状況等により第一種奨学金および第二種奨学金の両方を受けることもできます。

区分	貸与月額(希望額を選択)	
	自宅生	自宅外生
第一種奨学金(無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円~120,000円	

※貸与期間は卒業までの最短期間

【選考方法】
日本学生支援機構の定める家計および学力基準に基づき選考。
【返還義務】あり

【貸与割合】(2026年3月現在)
学部生…25.2%(649人/2,573人)
大学院生…31.2%(87人/283人)

給付奨学金および授業料減免

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、高等教育機関における修学の支援のための取組として、経済的に厳しい状況にある住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯を対象に、返還不要の給付奨学金が給付されるとともに、授業料・入学科が減免されます。

【採用基準】

採用にあたっては、学業等に係る基準、家計に係る基準、その他の基準があります。家計に係る基準の一つ、収入基準については、以下のとおりです。

区分		学生と生計維持者の市町村民税所得割額の合計額
多子世帯以外	多子世帯	非課税
第I区分	第I区分(多子世帯)	100円以上25,600円未満
第II区分	第II区分(多子世帯)	25,600円以上51,300円未満
第III区分	第III区分(多子世帯)	51,300円以上154,500円未満
	多子世帯	所得制限なし

区分	給付奨学金の額(月額)		授業料減免額(半期ごと)
	自宅通学	自宅外通学	
第I区分	29,200円	66,700円	267,900円(全額免除)
第II区分	19,500円	44,500円	178,600円(2/3免除)
第III区分	9,800円	22,300円	89,300円(1/3免除)
第IV区分(多子世帯)	7,300円	16,700円	267,900円(全額免除)
多子世帯	なし	なし	267,900円(全額免除)

※学生と生計維持者の市町村民税所得割額の合計額が154,000円以上、または、資産額が5,000万円以上の場合は多子世帯として奨学生採用されていても給付奨学金の支給はなく、授業料全額免除のみ受けることとなります。
※2026年4月現在。最新の情報は日本学生支援機構HP等をご確認ください。

2 表彰制度

本学では、学業や学術研究活動、課外活動、社会貢献活動などにおいて顕著な功績をあげた学生または学生団体などに学生表彰を行っています。

(1)「未来人材奨励賞—学業成績部門—」

【表彰基準】
・学部1~3年生:各学年の前期・後期を通した1年間の学業成績等が優秀な者
・学部4年生:4年間の学業成績や卒業論文・制作等が優秀な者

【副賞・対象人数】
・学部1~3年生:未来人材奨励賞120,000円支給(入学定員50人未満の学科:2人 50人以上の学科:3人)
・学部4年生:最優秀賞50,000円 優秀賞25,000円(各学科 最優秀賞1人、優秀賞1人)

(2)「未来人材奨励賞—学術研究部門—」

【表彰基準】
その年に地方、全国または国際規模の学会もしくは団体等から権威ある賞(論文賞、研究賞、デザイン分野に関する賞等)を受賞し、社会から高い評価を受けた者(団体含む)

【副賞・対象人数】
100,000円
(同分野(学科・専攻)で1名程度)

(3)「湖風会会長表彰」

【表彰基準】
その年に課外活動、近江楽座、社会貢献活動、その他分野で優れた成果を収めた者

【副賞・対象人数】
・個人:10,000円×5人
・個人(国際・全国レベル成果):20,000円×1人
・団体:30,000円×1団体
・団体(国際・全国レベルの成果):50,000円×1団体



3 学生サポート

より安心して豊かな学生生活のために学生の皆さんをサポートします。

学生支援センター



学生生活の上で必要となる手続きや相談の総合窓口として、ワンストップサービスを展開しています。困ったことや悩んでいることがあれば、まずこちらを利用してください。

健康相談室(保健室)



体調が悪くなったとき、ケガの応急手当、健康全般に関する相談に専門職員(看護師)が応じています。また、地元開業医の内科医と精神科医を学医として委嘱しており、定期健康診断等の健康管理を行っています。

キャリアデザイン室



専門の職員が常駐し、学生の進路や就職活動の相談に応じています。大学に送付された求人票や会社案内、卒業生の就活報告書の閲覧や、就職活動に必要な多くの本の閲覧・貸出をしています。

学生相談室(カウンセリング室)



学習、進路、家族、交友関係、健康、適性、性格に関するさまざまな悩みや心配ごとに対して、臨床心理士による相談を実施しています。〈事前予約が必要・相談内容の秘密は厳守されます。〉

障がい学生支援室

障がい学生支援室は、滋賀県立大学に在籍する障がいや疾病のある学生への支援を行う窓口として設置されています。障がい学生へのサポートはもちろん、障がい学生へのサポートを提供する学生・障がい学生を担当する教職員の三者を支援します。大学では、学修活動のさまざまな場面で、障がい学生の申し出に基づき、学修上必要な支援を提供しています。具体的な支援内容は、障がいや疾病の種類や程度、個々のニーズによって異なりますので、ご相談ください。

7 入学定員と募集定員

学部	学科	入学定員	募集人員							
			一般選抜		特別選抜				帰国生徒	私費外国人留学生
前期日程	後期日程	学校推薦型選抜A	学校推薦型選抜B	学校推薦型選抜C	学校推薦型選抜D					
環境科学部		180人	82人	55人	36人	—	7人	—	若干名	若干名
環境生態学科		30人	11人	10人	6人	—	3人	—	若干名	若干名
環境社会システム学科		40人	16人	12人	8人	—	4人	—	若干名	若干名
環境建築デザイン学科		50人	25人	15人	10人	—	若干名	—	若干名	若干名
生物資源管理学科		60人	30人	18人	12人	—	—	—	若干名	若干名
工学部										
		150人	75人	45人	15人	15人	若干名	若干名	—	若干名
材料化学科		50人	25人	15人	5人	5人	若干名	若干名	—	若干名
機械システム工学科		50人	25人	15人	5人	5人	若干名	若干名	—	若干名
電子システム工学科		50人	25人	15人	5人	5人	若干名	若干名	—	若干名
人間文化学部		200人	97人	59人	40人	—	4人	—	若干名	若干名
地域文化学科		60人	30人	18人	12人	—	若干名	—	若干名	若干名
生活デザイン学科		30人	12人	8人	6人	—	4人	—	若干名	若干名
生活栄養学科		30人	15人	9人	6人	—	若干名	—	若干名	若干名
人間関係学科		30人	15人	9人	6人	—	—	—	若干名	若干名
国際コミュニケーション学科		50人	25人	15人	10人	—	—	—	若干名	若干名
人間看護学部		70人	30人	5人	20人	—	—	15人	若干名	—
人間看護学科		70人	30人	5人	20人	—	—	15人	若干名	—
合計		600人	284人	164人	126人	—	11人	15人	—	—

注)
1)一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
2)「学校推薦型選抜A」は、高等学校を令和8年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。
3)「学校推薦型選抜B」は、高等学校の職業に関する学科もしくは総合学科を令和8年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。ただし、工業に関する科目を20単位以上取得した者または取得見込みの者に限ります。
4)「学校推薦型選抜C」は、高等学校を令和8年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、「学校推薦型選抜A」および「学校推薦型選抜B」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。
5)「学校推薦型選抜D」は、高等学校を令和8年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、滋賀県内の病院または特定施設において看護職(看護師、保健師、助産師)として6年以上就業する強い情熱と意欲を有する者(看護教諭は除く)を対象とします。
6)「学校推薦型選抜A」と「学校推薦型選抜B」と「学校推薦型選抜C」と「学校推薦型選抜D」の併願はできません。
7)特別選抜の合格者数は、試験結果によって、募集人員を下回る場合があります。

2 試験

一般選抜

【出願資格】
令和9年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者です。

- 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

【選考方法】
入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

帰国生徒特別選抜

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、本学で定める要件に該当する者を全学部において、若干名募集します。

私費外国人留学生特別選抜

環境科学部、工学部、人間文化学部において若干名を募集します。

学校推薦型選抜

出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に実施します。

3 インターネットでの出願について

学部入試において、インターネット出願を導入しています。学生募集要項は、ウェブサイトから電子ファイルをダウンロードしてください。

出願の流れ

- 1 **事前準備** 初めの方では出願手続きを始める前に必ず学生募集要項をご確認ください。調査書、志望理由書、顔写真データ等の必要なものを準備してください。また、インターネットに接続されたパソコン、プリンター等を用意してください。
- 2 **インターネット出願サイトにアクセス** インターネット出願サイトにアクセスしてください。
- 3 **出願内容の登録** 留意事項等を確認して、必要事項を入力してください。
- 4 **入学検定料の支払い** クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easyのいずれかでお支払いください。
- 5 **必要書類の印刷** 志願票等必要書類を印刷してください。
- 6 **出願書類の郵送** 出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達」で郵送してください。

CHECK MORE!

最新の入試情報はこちら! <https://www.usp.ac.jp/nyushi/>

>>>>

